

公益財団法人 原総合知的通信システム基金
第 51 回国際会議論文発表助成候補者 (2016 年度後期)
募集要綱

2016 年 11 月 1 日

1. 助成の趣旨

公益財団法人原総合知的通信システム基金は、知的処理と情報通信が高度に融合した総合知的通信システム技術を実現する為、情報通信における AI 技術、マルチメディア通信技術、コンピュータ間通信技術、生体情報伝達システム技術及びその関連技術等に関する研究者に対する助成等の支援を行うことにより、世界の情報通信技術の発展に寄与することを目的としています。

2. 対象分野

- (1) 人工知能関係、コンピュータ間通信関係等に関する研究発表
- (2) マルチメディア通信関係等に関する研究発表
- (3) 生体情報伝達システム技術 (ライフサイエンス)
- (4) バイオとコンピュータサイエンスの境界領域
- (5) ロボット関連情報システム分野 (ロボティクス)
- (6) データサイエンス技術等に関する研究
等に関連する研究発表

3. 助成対象者

国内の大学並びに国公立 (またはこれに準ずる) 研究所に在籍する研究者 (締切時点の年齢 40 才未満) で、上記分野の研究論文を海外で開催される国際会議で発表を希望している者。(日本在籍 2 年以上であれば国籍を問わない)

(原則として 2017 年 2 月以降における論文発表者に適用します)

4. 助成金

1 件 25 万円以下

5. 助成金の使途

原則として、渡航費、滞在費等に使用して下さい。

6. 申込期間 2016 年 12 月 15 日締切り

7. 申込方法

- ・別紙申込用紙に記載の上、写真を添付して提出して下さい。

申請中の論文の表紙及び学会または国際会議の論文採録通知 (Letter of Acceptance) のコピー及び学会・国際会議の案内資料を添付して下さい。外国人の方は **First Name, Family Name** を分かるように記載して下さい。

- ・論文採録通知がメールの場合、参加学会のホームページ等をつけてください。

・E-Mail アドレスは判読出来るようにはっきりと記入下さい、審査結果が届かない場合が有りますので。

- ・同一研究室からの申請は一名に限ります。

8. 選考基準と方法

選考は、当財団の中立的立場の委員で構成する選考委員会で審議し、理事会（代表理事が代行する場合もある）が審議結果を尊重した上で決定することとします。

《 選 考 委 員 》

新井 賢一	東京大学 名誉教授
野崎 成稔	総務省情報通信国際戦略局技術政策課課長
佐々木浩二	アドイン研究所 社長、中部大学 客員教授
森永 規彦	一般財団法人移動無線センター理事長、大阪大学名誉教授
王 健平	北京大学 教授

9. 助成の決定と贈呈

助成の決定は、2017年1月下旬とし、2月以降に贈呈を行う予定です。

但し、諸般の事情により遅れることがありますので御了承下さい。

（原則、銀行振り込みとします）

10. 助成金受領者の報告義務

- (1) 発表論文には当財団より助成をうけた旨を明記して下さい。
- (2) 助成金受領者には、帰国後、発表結果報告書及び会計等について提出していただきます。（報告書はA4サイズ・2～3枚程度に簡潔に記載、発表時の写真を添付）
- (3) 後日、研究結果等につき、当財団主催のセミナー等において発表していただくことがあります。（事務局より連絡致します）
- (4) 国際会議に出席したことを証明する書類
（例：航空券及び搭乗券のコピー、発表時の写真等）
- (5) 助成金受領後、必ず速やかに領収証をお送り下さい。（特に規定様式なし）
以上の義務に違反した場合、助成を取り消す場合がありますので、御注意下さい。
- (6) 助成金の送金を行う場合、
振込手数料は貴殿負担になりますのでご了承下さい。

11. 申込書提出先及び連絡先

公益財団法人 原総合知的通信システム基金 事務局
〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町 11-19
Phone・Fax 06-6765-5593
E-mail ; k-tanaka@hara-rf.jp
[http:// WWW.hara-rf.jp](http://WWW.hara-rf.jp)